



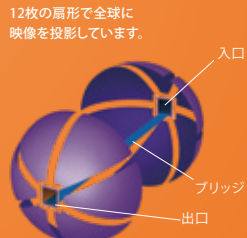
# 360°の音と映像に 包まれる、 驚きの世界へ。

## シアター THEATER 360とは?

2005年「愛・地球博」の長久手日本館で人気を博した「地球の部屋」が、国立科学博物館に移設され、「THEATER360(シアター・サン・ロク・マル)」として生まれ変わりました。直径12.8m(実際の地球の約100万分の1の大きさ)のドームの内側すべてがスクリーンになっていて、その中のブリッジに立ち、映像をご覧いただけます。360°全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感などが味わえる世界初のシアターです。



THEATER 360 イメージ図



THEATER 360 の映像システム

12枚の扇形で全球に映像を投影しています。

## シアター THEATER 360 をご鑑賞にあたっての注意事項

- おことわり: 映像の特性上浮遊感やスピード感があり、気分が悪くなるおそれがあります。特に、「小さいお子様」、「体調のすぐれない方」、「妊娠中の方」、「高齢の方」、「心臓疾患をお持ちの方」などは充分ご注意ください。また、「飲酒されている方」、「付き添い者のいない未就学児童」、「未就学児童の団体」のご入場はご遠慮願います。
- 禁止事項: シアター内での飲食、上映中の撮影、携帯電話の使用、火気の使用、肩車。その他は、係員の指示に従ってください。



飲食



撮影



携帯電話の使用



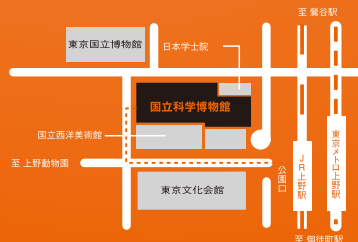
火気の使用



肩車

## 国立科学博物館利用案内

- 【開館時間】 9:00—17:00(入館は16:30まで)  
金曜日・土曜 9:00—20:00(入館は19:30まで)
- 【常設展示入館料】 一般・大学生 630円(20名以上団体 510円)、高校生以下 無料
- 【閉館日】 毎週月曜日(日・月曜日が祝日の場合は火曜日)  
年末年始(12月28日～1月1日)  
※特別展等により変更することがあります。
- 【アクセス】 JR「上野駅」公園口から徒歩5分。  
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分。  
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分。※駐車場はありません。



世界初の航海  
体験シアター  
THEATER 360



# まんねんまえ だいこうかい 3万年前の大航海

## -ホモ・サピエンス日本上陸-

最初の日本列島人は、3万年以上前にどうやって広い海を越え、列島へたどり着いたのか？当時の大航海を研究して再現しようと、国立科学博物館が実施したのが「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト（2016-2019）」。

本作品では、丸木舟で台湾から与那国島へ渡った200キロメートルを超える実験の映像をもとに、祖先たちの航海を体験することができます。



### SCENE 1 サキタリ洞遺跡

「カニの爪ばかり出るな」  
「なんだこれ！釣針だよ！」  
「すごい！世界最古かも！」  
「この貝殻 ピーズだ！穴が開いてる」  
「またカニだ」  
「3万年前から、ずっとカニ食べてるんだ…」

ここは沖縄島にあるサキタリ洞遺跡。  
見つかったのは人の生活の跡。  
なんと3万5千年前頃に  
突然はじまったのです。



### SCENE 2 3万5千年前頃の地球

その頃の地球をみてみましょう。  
当時は氷期で海面が下がりが  
陸が広がっていました。  
とても寒かったんですね。  
しかし、人が日本列島へ渡るには  
海を越えなくてはなりません。



### SCENE 3 オープニング

みなさまこんにちは。  
案内人は 満島ひかりです。  
はるか昔に最初の日本列島人は  
どうやって海を越えたのか。  
国立科学博物館が  
2019年に行った実験の映像から  
その航海を体験してみましょう。



### SCENE 4 航海のルート

舞台に選んだのは  
台湾から与那国島を目指すルート。  
行く手を阻むのは  
秒速1から2メートルで流れる  
巨大な海流、黒潮。  
その黒潮を横断して水平線の  
先にある島を目指すのです。



### SCENE 5 丸木舟の製作

ところで祖先たちはどのような舟に  
乗っていたのでしょうか。  
当時の道具で作れて  
黒潮を越えられることが条件。  
草の舟？ 竹の舟？  
実験を重ねましたが  
どちらも黒潮を越えることが  
できませんでした。

さらなる実験の結果  
たどり着いた答えは丸木舟。  
しかし丸木舟は不安定。  
あらら、大丈夫でしょうか・・・



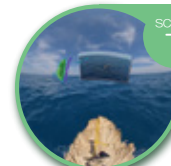
### SCENE 6 航海へ出発

ここは台湾の海岸  
さあいよいよ出発です。  
海を見て、目標を確認しましょう。  
目指すは与那国島は  
200キロメートル以上のかなた。  
近づくまでは見えません。  
さらに黒潮がこの沖を  
北へ流れているので  
舟が流されることを考え  
東を目指して漕いでいきます。

「じゃあ行きましょう！」

出航します。  
後ろには頼れる仲間たち。  
舟がうまく進むよう  
漕ぐタイミングを  
合わせていきましょう！

3万年前の航海なので、  
現代の道具は持ちません。  
太陽や星を頼りに  
あなた自身の眼で方角を定めます。  
島が見えるまで  
舟をしっかり導いてくださいね！



### SCENE 7 黒潮の荒波

出発から2時間  
海水が温かくなってきた。  
「北に流されはじめて！」  
どうやら黒潮に突入したみたい。  
前に漕いでいるのに  
舟は斜めに進んでしまいます。



夕方が近づいて海が荒れてきました。  
「こんなはずじゃなかったのに・・・」  
みなさん！  
転覆しないよう  
集中して行きましょう！



### SCENE 8 1日目の夜

しかし夜に入っても  
波は一向におさまりません。  
「舟に波が入ってきたぞかきだせ！」  
漕ぐ手も水をかき出す手も  
止められません。

休むことなく  
暗い海を丸木舟が進んでいきます。



### SCENE 9 七夕の星空

6時間後。  
はあ、ようやく海が  
落ち着いてきました。  
今日は七夕の夜、てことは  
北東に見える織姫星と  
東の空を動く彦星が  
導いてくれるはず。  
「目標は正面の彦星！」



### SCENE 10 天候が悪化

ところが、  
雲がでてきてしまいました。  
もう星が見えないので  
波と風を頼りに  
漕ぎ続けるしかありません。  
「ああ眠たいよ、もう」



### SCENE 11 黒潮の横断

出発から16時間。  
何とか夜を乗り切りました。  
漕いでいるわたしたちは  
気づいていませんが  
実はなんとこの時  
黒潮の横断に成功していたのです！



### SCENE 12 疲労のピーク

「そろそろ見えてこないのかな・・・」  
2日目の昼。  
まだ与那国島は見えません。  
後方の台湾島も見えず  
まわりはどこを見ても海だけ  
進むべき方向を見失いそうになります  
島が北東にあることを信じて  
漕ぎ続けるしかありません。  
しかし、昨日の奮闘と暑さで疲れはピーク。  
とりあえず海に飛び込んでリフレッシュ。  
こんなとき、3万年前の祖先たちなら  
どうしていただかな。



### SCENE 13 再び、夜の航海へ

日が暮れてきた。  
島が見えないまま、  
再び夜の航海に突入です。



### SCENE 14 島を発見！？

2度目の夜明け。  
「あの雲 怪しくないか？」  
前を見てください。  
気流が揺れて雲が上空に広がっている。  
もしかしたら島があるのか！？  
あそこに向かって漕いでみよう！！



### SCENE 15 ゴール目前

「おっ！見えた！」  
見えました！与那国島です！！  
仲間を、そして自分を信じて  
漕ぎ続けた末にやってきたこの瞬間。  
出発から45時間  
夢に見たゴールはもう目の前。  
「いやあ もうポロポロだけど 最高！」



### SCENE 16 エンディング

3万年前の祖先たちも同じように、  
あるいはもっとたいへんな  
困難を乗り越えて  
この日本列島へ渡ってきたに  
違いありません。  
海という未知の舞台に乗り出し、  
新しい世界を切り開いた挑戦者。  
それが彼らの本当の姿  
だったのでないでしょうか。